

信州しおじり木質バイオマス推進協議会

地域再生計画について



平成27年3月23日

地域再生計画の認定について

「森林資源の循環活用による持続可能な田園都市づくり計画」

【認定までの経過】

平成26年3月	塩尻市第5次総合計画に関するタウンミーティングの開催
平成26年4月	内閣官房で募集のあった地域活性化モデルケース【テーマ1 超高齢化・人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成(地方都市型)】に「森林資源の循環活用による持続可能な田園都市づくり」を提案
平成26年5月	地域活性化モデルケースに提案した計画が選定される
平成26年6月	選定された計画について関係省庁によるコンサルティングが市内で行われる
平成26年11月	関係省庁によるフォローアップが都内で開催される
平成26年11月	地域再生計画法の一部改正が行われる
平成26年12月	改正地域再生計画法に基づく地域再生計画認定申請の事前相談の受付が始まる
平成27年1月	地域再生計画「森林資源の循環活用による持続可能な田園都市づくり計画」を申請
平成27年1月22日	地域の特性を生かした地域活性化策として地域再生計画が認定され、首相官邸において認定授与式が行われる 同日、認定団体と石破地方創生担当大臣との意見交換会が開催される
平成27年3月13日	認定された地域再生計画に基づく「地域再生戦略交付金」の交付決定

【今後の予定】

平成27年3月	地域再生戦略交付金については緊急経済対策として平成26年度補正予算として対応する
---------	--

塩尻市地域活性化モデルケース概要図

【森林資源の循環活用による持続可能な田園都市づくり】

信州F・POWERプロジェクト

Forest
factory
future

豊かな森林を生かす
最先端の工場
未来へつなぐ

森林資源の有効活用

県産木材の普及

(民間事業者)

端材、間伐材の活用 おが粉の活用(カスケード利用)

木質バイオマス発電

(民間事業者)

木質ペレット熱利用

地域熱供給

発電

再生可能エネルギーの普及

【熱利用1】
発電プラントからの熱を直接利用し、里山と都市部を繋ぐ場とする。

里山自然共生型公園整備

【熱利用2】
ペレット燃料の製造普及により熱エネルギーの地域循環を進める。

ペレット燃料製造施設整備

熱利用料の一部を「森との共生基金」として積み立て、里山の整備や森の体験活動に交付することで、木育活動や環境教育の促進を図る。

里山(地域)の資源を地域で活用

プロジェクトと連携し、持続可能な循環型社会を形成する5つの再生

市街地再生

農業再生

森林再生

農山村再生

教育再生

長野県、塩尻市から全国へ発信!

先駆的なモデル発信

【目的】 信州の豊かな森林資源を有効的に活用し、再生可能エネルギーへの転換を進め循環型社会の形成を目指すとともに、森から得た恩恵を森に還元していくことで森林の再生を図る。あわせて、林業の振興や地域の活性化を進める。

市の人口は平成22年をピークに減少に転じてきており、30年後には80%まで減少すると予測される。長野県、民間事業者と連携して取り組む「信州F・POWERプロジェクト」により、地域の森林資源や潜在力を活用し持続可能な循環型社会を形成し、自然との共生を軸とした「森の文化」の再構築を進め、人口減少の歯止めとなる「選ばれる地域」を目指す。

森林資源の活用と「森の文化」の再構築

○森林資源の有効活用による地域資源循環型社会の形成による地域活性化
○森を意識し、森の恵みの復活による地域活性化

(a) 森林資源を活用した新たな産業や雇用の場の創出

信州F・POWERプロジェクト

里山共生創出エリア

市街地

広丘地区

中心市街地

農業エリア

森林エリア

檜川地域

(b) 森林資源を活用した地域エネルギー供給システムの構築

(c) 森林資源を生かした市街地の整備(公共建築物における木材の利用の促進)

(d) 2つの市街地と農山村部を繋ぐ基幹道路の整備と公共交通の確保

(e) FPプロジェクトの実施による森林再生、森林資源を生かした農業再生

(g) 「森の文化」の醸成と担い手の育成
— 市民の意識改革と教育再生 —

(f) 都市部と農山村部を繋ぐ地域コミュニティ醸成施設—「森の文化」の発信の場—の整備

「選ばれる地域」として地域活力を取り戻す

長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」
森林を生かし森林に生かされる私たちの豊かな暮らし

笑顔 × 幸福 × 誇り × 希望 = わがまち塩尻

塩尻市地域活性化モデルケースコンサルティングに基づく概要

【森林資源の循環活用による持続可能な田園都市づくり】

1. 提案等の概要

森林資源の循環活用と「森の文化」の再構築

- ▶ 地域資源を、地域の中で生かし、循環させる仕組み（地域資源循環活用型経済）の構築による地域活性化
- ▶ 森を意識し、森の恵みの復活による自然共生型社会の実現

信州F・POWERプロジェクト

長野県、塩尻市、征矢野建材(株)、東京大学、信州大学等の産学官連携事業

森林資源の有効活用

端材、間伐材の活用 | 森林資源から生まれる熱エネルギーの有効活用

県産木材の普及

木質バイオマス発電

木質バイオマス熱利用

里山(地域)の資源を地域で活用

地域経済の活性化

先駆的なモデル発信

長野県、塩尻市から全国へ発信！

- 森林との共生による持続可能なライフスタイルを作り上げていく
- 豊かな森林を未来に引き継ごうとする意識を暮らしの中で持つことができる「森の文化」を再構築する

塩尻で暮らすことの魅力や付加価値を創出

(a) 森林資源を活用した新たな産業と雇用の創出

- 効率性・生産性を高めた林業の構築
- 木材の安定供給に向けた流通体制の整備
- 集中型木材加工施設及び木質バイオマス発電所の整備

(b) 森林資源を活用した地域エネルギー供給システムの構築

- 地域熱供給システムの構築（管路による発電熱の供給、製材オガコを活用した木質ペレット製造・供給）
- ICT技術を生かした特定規模電気事業者による地域電力供給

(c) 森林資源を生かした市街地の整備

- 人口集中地区の広丘地区における都市機能の強化
- 公共・教育施設における地域産材の活用とペレットボイラー・ストーブの導入及び民間施設への導入
- 地域産材と地域エネルギーを活用した住宅地の造成
- 中心市街地における歩行環境の向上にぎわいの場の創出

森林再生

人と森との適切な関わりを取り戻し、「木を育て、活用し、また育てる」持続可能な健康な森のサイクルを実現する

市街地再生

地域産材や木質バイオマスエネルギーを活用した、魅力ある都市と居住空間を創出する

教育再生

森林資源を活用した木育活動や環境教育の場づくり、食育活動などを通して、循環型社会を支える人材の育成と市民意識の醸成を図る

農山村再生

森林資源を活用した新たな産業や地域ビジネスを創出するとともに、地域の魅力と元気を掘り起こす

農業再生

木質バイオマスエネルギー等を活用した農業経営の安定化と多様化を進めるとともに、農畜産物の地域内流通体制を構築する

(g) 「森の文化」の担い手の育成

- 地域エネルギー料金の一部などを原資とした基金の造成と、植林活動や環境教育などへの活用
- “木づかい”を育てる木育活動や地域の食文化や自然の恵みを実感できる食育活動の推進
- 地域資源を活かした産業観光の創出
- 市民や小中学校における出前講座や課外授業、体験学習等の実践

(f) 都市と農山村を繋ぐ地域コミュニティ醸成施設の整備

- 地域エネルギーを活用した自然共生型公園の整備

(d) 2つの市街地と農山村部を繋ぐ基幹道路の整備と公共交通の確保

- 人とモノの流通を活発化させる交通インフラの整備
- 都市と農村をつなぐ低炭素型公共交通機関の整備

(e) FP7 以外の実施による森林再生、森林資源を活用した農業再生

- 計画的な森林整備に向けた林業集約地の集約化
- 身近な森林資源の活用と小規模自伐林家の育成
- 地域エネルギーを活用した施設園芸の推進、環境保全型農業の実践

地域再生計画の認定について

「森林資源の循環活用による持続可能な田園都市づくり計画」

「森林資源の循環活用による持続可能な田園都市づくり計画」が地域の特性を生かした地域再生計画として認定(全国で21計画)

「信州F・POWERプロジェクト」を着実に推進することで、森林資源を有効活用した循環型社会を形成する。

地域のエネルギー政策の考え方



- 地域に存在する未活用である森林資源を地域で活用する。
- 地域資源を地域内で循環活用することで地域経済の活性化を目指す

木質バイオマス燃焼機器導入加速化事業

地域エネルギー熱利用促進事業

木質ペレット製造施設整備事業

木質バイオマス燃焼機器導入事業

- 地方都市が人口減少社会の中で生き残るために必要な事業を展開
- 地域の特性を捉え、磨きをかける事業の立案⇒事業化への転換
- 地域資源の活用により雇用の創出を促す。⇒「ひと」「しごと」の好循環

地域の特性を生かした活性化の実現

待ちの体制から攻めの体制にシフトしていく